

白河高校同窓会報

発行所
郵便番号 961-0851
福島県白河市南登り町54
白河高校同窓会
☎0248-24-1116

発行人
鈴木雅文
編集委員長
堀川哲雄

(南楓堂堀川印刷所)



これからの同窓会に向けて

同窓会長 鈴木雅文(高28)

平素より同窓会活動にご理解をいただき、またご協力をいただいておりますことに改めて感謝を申し上げます。

昨年のある朝の新聞を見て大変ショックを受けました。福島県南地方の生徒数が激減していることは承知しており、県教委からいずれ本校の募集定員を1クラス減にするとの方針であることは聞いておったのですがいざこんな早く実施されると大きな動揺が走りました。本校の最大の定員は、1学年9クラス、360人、全校生徒1080人でありました。それから約20年後、理数科1クラス、普通科4クラス、1学年200人になってしまいました。45%の減です。これは単に学校の生徒数が減ったに過ぎないというわけではありません。学力低下の問題、生徒数の減に応じて教員の数も減らされ、県費の予算配分も減ります。成り立たない部活も出てくるし、総額が減らされているので諸活動におけるお金の流用もで

きなくなってきました。数は力という図式が成り立たなくなっていました。

我々同窓会にとっても存亡の危機であります。同窓会入会金はもちろんの事、数が減ったままで推移すれば賛助金にも大きな影響が出てまいります。予算を計上しても今までのやり方では成り立ちません。そこで、本年「事業見直し検討委員会」を立ち上げ、抜本的に出と入りを精査しております。本会と皆様の架け橋である同窓会報であります。その送付の方法についても考えております。また、賛助金の募金方法も見直しの検討に入りました。同窓生の皆様におかれましては大きく様変わりをする可能性があります。違和感を感じることがおありになるかもしれませんが、日々現状を見つめながら同窓会の存続と発展を考えている本会としてお許しをいただきたく存じます。

変革も含め、今後とも同窓会の発展と皆様のご健勝を祈念し、筆をおきます。



たくましく生きる 登龍健児の育成を目指して

校長 増子文隆(高36)

同窓会の皆様におかれましては、日頃より本校教育活動に対し、あたたかいご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

私は本校第36回卒業生であり、令和6年度より校長として母校に戻り、現在2年目を迎えております。増子文隆と申します。かつて自らが学び、多くを得たこの白河高校で、次代を担う登龍健児たちの成長を支える立場にあることを、誇りに感じております。

先行きの不透明な“VUCA”の時代においても、「文武両道」「質実剛健」という本校の教育理念は揺らぐことはありません。私たちはこれから、リーダーとして社会に貢献できる力を備えた生徒の育成を目指して、日々の教育活動に取り組んでまいります。

とりわけ、今年度より、今後10年を見据えた進路目標として、以下の2点を掲げました。

- 令和7年度から令和16年度
までの進路達成目標
1. 東京大学・京都大学・国公立大学医学部に、10年で10人以上の合格者を輩出すること
 2. 国公立大学への合格者を、毎年100人以上とすること

このような高い目標の達成には、生徒一人ひとりの努力はもちろん、教職員の献身的な指導と、地域・保護者・そして同窓会の皆様のご支援が不可欠です。

また、伝統ある学校行事や部活動の推進にも力を入れ、心身ともにたくましい人間の育成に努めてまいります。生徒たちが仲間とともに挑戦し、学び、成長していく姿を、今後同窓会の皆様に見守っていただければ幸いです。

結びに、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

令和7年度同窓会総会開催

去る5月24日、令和7年度白河高等学校同窓会総会を開催者約60名の参加により東京第一ホテル新白河にて開催しました。横村勝己事務局長(高37)の司会進行のもと、金澤隆夫副会長(高23)が開会を宣言し、参加者全員で校歌斉唱を行った後、この1年間のうちに逝去された会員の方々のご冥福を祈って、黙祷を行いました。

次に鈴木雅文会長(高28)からの挨拶があり、続いて増子文隆校長(高36)から白高の近況報告を含めた挨拶をいただきました。

その後、各支部より出席された皆様方の紹介が行われ、支部の皆様を代表して東京登龍会会長の加藤直二氏(高27)より挨拶がありました。また、来賓を代表して福島県議会議員の三村博隆氏(高41)、保護者と教師の会会長の照井耕輔氏(高48)からご祝辞をいただきました。



議事では、慣例により還暦を迎えた高35回卒業生の中から鈴石敏明氏が議長に選出されました。始めに庶務の須釜俊男氏(高40)から令和6年度事業報告、会計の金澤博信氏(高29)から令和6年度決算報告、横村事務局長から会計監査の実施報告があり、それぞれ満場一致で承認されました。

その後、役員改選に入り、副会長の金澤隆夫氏と石塚次男氏(高26)の両名が退任し、新副会長に会計の金澤博信氏、庶務の諸橋和典氏(高34)を推薦する役員案が事務局より提案され、満場一致で承認されました。

続いて須釜氏から令和7年度事業計画(案)並びに横村氏から「事業見直し検討委員会」の設置

令和8年度総会のお知らせ

期 日 令和8年5月16日(土)
講演会 16時～17時
総 会 17時～18時
懇親会 18時～
場 所 東京第一ホテル新白河

※詳細につきましては、令和8年4月頃、ホームページに掲載いたします。

会 長 鈴木 雅文(高28)
副 会 長 金 澤 博 信(高29)
副 会 長 満 山 喜 博(高33)
副 会 長 諸 橋 和 典(高34)
事 務 局 長 金 内 貴 弘(高40)
会 計 監 査 横 村 勝 己(高37)
会 計 監 査 有 賀 村 晴 己(高28)
会 計 監 査 鈴 木 賀 久(高29)
会 計 監 査 芝 澤 浩 治(高31)
庶 務 下 藤 重 泰(高32)
庶 務 斎 藤 正 明(高39)
庶 務 須 釜 俊 男(高40)
庶 務 兼 子 釜 田 文(高41)
庶 務 青 木 子 釜 田 文(高41)
庶 務 宗 田 慎 浩(高43)
庶 務 高 内 介(高46)

令和7年度同窓会役員

最後は石塚次男氏が閉会を宣言し、総会を終了しました。

についての説明、金澤氏から令和7年度予算(案)が提案され、それぞれ満場一致で承認されました。

令和7年度同窓会講演会

ふるさと福島における Well-being とは?

NSGグループ
福島事業部執行役員

双 石 茂(高35)

このたび、幹事当番学年として多くの皆さまがご尽力される中、貴重な機会を頂きましたこと、心より感謝申し上げます。白河高校卒業後、福島の地で歩んできた経験をもとに、ふるさとへの思いをお話しさせていた

私が所属するNSGグループは、「人々の幸福と豊かさの実



現」を理念に、教育・福祉をはじめ多様な事業を展開し、地域の活性化に取り組んでいます。

その中核を担うFSGカレッジリーグは、郡山市に拠点を置く5校を運営し、1984年の開校以来、「地域に根ざした人材育成」を通じて、若者の地元定着と活躍を支援してきました。

また、東日本大震災直後には、プロバスケットボールチームの設立にも関わり、スポーツを通じた地域の絆づくりにも尽力してまいりました。2025年度からは「福島事業部」を新設し、バスケットボール・ダンススクール、企業の人材確保やキャリア支援、介護・看護など全世代を支える事業を展開し、現在、県内に70か所の拠点を構えています。

今後、同窓会の皆さまとのご縁を大切に、行政・企業・地域との連携、国際化の推進、子どもたちへの職業教育など、多世代に関わる取り組みを重ね、持続可能な地域づくり、「ふるさと福島」における、Well-being(幸福で満たされた状態)の実現を目指してまいります。今後ともご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

令和6年度 白河高等学校同窓会決算書

収入の部

(単位 円)

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
繰 越 金	2,181,496	2,181,496	白信(¥192,259)ゆうちょ(¥1,201,763)コンビニ払い(¥787,474)
入 会 金	798,000	764,400	1,200円×667名分(転退学者返金含む)
賛 助 金	2,000,000	2,287,758	
同窓会基金より	500,000	500,000	
雑 収 入	104	20,562	預金利子等
合 計	5,479,600	5,754,216	

支出の部

(単位 円)

款 項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
総 務 費	700,000	404,877	
事 務 費	50,000	30,932	ラベル、保存用卒業アルバム1冊代
通 信 費	200,000	81,755	切手代・郵送料
会 議 費	100,000	50,000	東京登龍会参加料
総 会 費	150,000	30,000	総会諸経費
旅 費	80,000	68,900	東京登龍会参加旅費
慶 弔 費	20,000	0	
交 際 費	100,000	143,290	広告掲載費
教育助成費	550,000	717,280	
学校図書充実費	150,000	150,000	
体育文化助成費	150,000	66,000	祝看板代
卒業記念品助成費	100,000	132,230	印鑑セット代補助
進路対策費	150,000	369,050	Wi-Fi設置補助
事業活動費	3,051,000	2,663,665	
支部育成費	150,000	57,000	支部総会諸経費
会報発行費	2,400,000	2,321,685	会報印刷代・送料・諸経費
事業費	300,000	198,880	ホームページの製作・管理
研修費	1,000	0	
登龍賞基金	200,000	86,100	登龍賞楯・刻印・図書カード代
基 金	500,000	500,000	
同窓会基金	500,000	500,000	
予 備 費	678,600	0	
予 備 費	678,600	0	
合 計	5,479,600	4,285,822	

令和7年度 白河高等学校同窓会予算書

収入の部

(単位 円)

項 目	令和7年度予算	対比増減	備 考
繰 越 金	1,468,394	△ 713,102	白信(¥710,687) ゆうちょ(¥737,707) コンビニ払い(¥20,000)
入 会 金	742,800	△ 55,200	1,200円×619名
賛 助 金	2,000,000	0	
同窓会基金より	1,000,000	500,000	
雑 収 入	806	702	預金利子ほか
合 計	5,212,000	△ 267,600	

支出の部

(単位 円)

款 項 目	令和7年度予算	対比増減	備 考
総 務 費	500,000	△ 200,000	
事 務 費	30,000	△ 20,000	封筒・ラベル等、卒業アルバム代
通 信 費	120,000	△ 80,000	切手・ハガキ・郵便料金等
会 議 費	50,000	△ 50,000	東京登龍会参加費
総 会 費	100,000	△ 50,000	総会諸経費
旅 費	80,000	0	東京登龍会参加旅費
慶 弔 費	20,000	0	香典・弔電など
交 際 費	100,000	0	新聞広告掲載
教育助成費	500,000	△ 50,000	
学校図書充実費	150,000	0	
体育文化助成費	100,000	△ 50,000	祝看板代
卒業記念品助成費	100,000	0	印鑑代補助
進路対策費	150,000	0	
事業活動費	2,751,000	△ 300,000	
支部育成費	100,000	△ 50,000	支部総会諸経費
会報発行費	2,400,000	0	会報印刷代・送料・諸経費
事業費	100,000	△ 200,000	ホームページ管理
研修費	1,000	0	
登龍賞基金	150,000	△ 50,000	登龍賞楯・刻印・図書カード代
基 金	1,000,000	500,000	
同窓会基金	1,000,000	500,000	
予 備 費	461,000	△ 217,600	
予 備 費	461,000	△ 217,600	
合 計	5,212,000	△ 267,600	

同窓会基金の総額は3,440,721円、創立100周年記念事業基金の総額は7,096,957円となります。

母校だより

人事異動

3月末をもって、同窓会事務を担当した**本田弘子**先生が退職となり、**緑川祐**教頭(高48、管理主事として高校教育課へ)、**鈴木智紀**先生(高66、新採用として原町高校へ)、**折笠大軌**先生(高71、新採用として会津農林高校へ)、その他8名の職員が異動となりました。

4月に着任した職員について、**千葉義知**教頭(相馬高校より)を始めとして13名の職員を新たに本校にお迎えし、その中で同窓生は次の3名の先生方です。



部活動指導員
矢吹重幸
(高35)

今年度より、書道部の部活動指導員として参りました。卒業して42年も過ぎて、母校に來られた事を嬉しく思い楽しみにしていました。部員達は素質があり、とても優秀です。私はこの生徒達の技術を高められるよう全力で頑張りたいと思います。



教諭
鈴木正弘
(高39)

3年間毎日自転車と電車とバスで通った母校に今年度着任いたしました。在学時の担任は3年間堤秀裕先生で充実した高校生活を送ることができ、現在の私の礎となっています。これまでの教員生活の経験を生かし、生徒の皆さんの進路実現と白河高校の発展のために力を尽くしていきたいと思っています。どうぞよろしく願います。



教諭
岩崎みずき
(高62)

着任にあたり、あたたかく迎えてくださった諸先輩方、先生方、本当にありがとうございます。4月、初めて教員として母校の校歌を聞いたときの感動は、今後教員生活を送る上で一生の励みになると思います。自分にとってかけがえのない場所です。勤務できることに感謝し、生徒と共に学びながら、一杯毎日を積み重ねてまいります。どうぞよろしく願います。

支部だより

東京登龍会の

近況について

東京登龍会会長

加藤 直二(高27)

令和7年度の総会が5月17日に上野精養軒で開催され、あいにくの雨模様ではありましたが、首都圏の同窓生はもとより、白河から鈴木和夫市長、鈴木雅文同窓会長、増子文隆校長、宗田浩一前後援会長など、多数の来賓や今年白高卒業の大学生まで70名近い参加者となり、大いに盛り上がりました。

特に、総会の目玉である講話には、公務ご多忙にもかかわらず鈴木市長にお越しいただき、地方行政と白河市の変遷について示唆に富むお話を伺うことが



できました。市長のご講話がきっかけで、多数の同級生が初めて参加されたことも、東京登龍会にとって大変意義深い出来事となりました。

総会では、年2回開催している「登龍会フォーラム」が第8回を迎え、着実に新たな交流の場へと進化している旨をご報告申し上げました。また、昨年は若手を中心に「第1回フレッシュ会」を開催し、就職を控えた学生や若手社会人が先輩方から実践的なアドバイスをもらえる機会となり、参加者からは「就職活動に役立った」との嬉しい感想も寄せられました。

懇親会では、東京登龍会副会長に今総会で就任された安田貢様に乾杯のご発声、また、白河の(財)立教志塾の理事長に就任された小野利廣様にご挨拶をお願いし、鈴木市長の同級生、中堅若手の初参加の方々にも近況を語っていただきながら時間が経つのも忘れて旧交を温め、大いに賑わいました。

最後に、恒例の校歌斉唱、「フレッツ、フレッツ、白高！」で声高らかに締めくくり、再会を誓って上野の森を後にしました。

西郷支部の近況報告

支部長 金澤 隆夫(高23)

西郷支部令和7年度総会を8

月22日に小田倉地内の蒼の里で開催しました。鈴木雅文会長、金内貴弘事務局長、増子文隆校長のご臨席のもと、会員19名が出席しました。

祝辞で、鈴木会長からは、募集定員の減を受けて事業見直し検討委員会を立ち上げたことなど、また、増子校長からは、校舎の大規模改修が来年度から3年計画で始まること、理数科の定員割れが続いたことを受けて学科の改革と中学校へのPRを行っていることなどのお話がありました。

総会では、令和6年度事業報告及び決算報告、令和7年度事業計画及び予算が承認され、役員選任では、金澤支部長以下の現役員全員が再任となりました。総会終了後、和知肇さん(高14)の発声で懇親会に移り、盛会のうちに終了しました。

和知肇さん(高14・西郷村 仰歩句会会長)の句
乾杯のビール冷たく喉に染み
登の暑さを しばし忘れる



矢祭支部便り

支部長 木村 芳朗(高19)

10月18日にユーパル矢祭にて令和6年度矢祭支部総会を開催しました。

来賓の鈴木雅文同窓会長、増子文隆校長、横村勝己同窓会事務局長のご臨席のもと、会員14名が出席しました。

総会では、令和5年度の事業報告として、白河高校吹奏楽部定期演奏会観覧や野球部の甲子園予選の応援の実施、中学生へ白河高校への入学を勧誘する活動の実施を報告し、決算報告とともに承認されました。

令和6年度の事業としては、町内から通学している生徒への校歌・応援歌等を収録したCDの贈呈や運動部の試合応援、文化部の発表会等の観覧を計画し、予算とともに承認されました。



総会終了後には、懇親会を行い、参加者の近況を語り合うなど大変有意義で楽しい会となりました。今後も、昨年スタートした矢祭支部「Y」を活用し、各種の連絡や情報発信、意見交換等、会員同士の繋がりを更に深めていきます。

泉崎支部の総会について

支部長 箭内 清和(高26)

令和7年3月22日、泉崎カントリビレッジにおいて、21名の参加者を得て、支部総会を行いました。定期総会は、2年に1度行うことが支部会則により定められているので、令和5年3月の設立総会以来2回目の開催となりました。

令和5年・6年度の事業報告、収支決算報告が承認され、役員については会計監査2名が退任し、幹事より2名が新たに選任されました。また新しく2名の方が幹事になり、他は留任となり、今までと同じ10名で新役員体制が承認されました。(支部長1名、副支部長2名、事務局長1名、会計1名、幹事3名、会計監査2名)

現在支部の会員は62名ですが、今後いろいろな機会をとらえて、新会員(特に50歳代の若い会員)を増やしていくことを確認し、「懇親会」に移り、大いに盛り上がりしました。

進学報告

都留文科大学に進学して



高久 鳳雅

私は現在、都留文科大学教養学部で学校教育学科に在籍しています。都留文科大学は山梨県の都留市にあり、山々に囲まれた自然あふれる場所です。少し歩けばとってもきれいな富士山も見ることが出来ます。都留文の最大の特徴はコミュニケーションの場が豊富であることです。山に囲まれている分、人と人の距離が非常に近く、自然に人間関係が深くなっていくように感じます。また、鶴鷹祭という高崎経済大学との部活動同士の交流戦もあり、本当にお祭りのように盛り上がって、多くの人と関わる機会があります。皆さんはこれから多くの人と関わりあう中で、部活や受験など様々な困難にぶつかっていくと思います。つらい時こそ、信頼できる仲間と支えあって、最高の青春を送ってください！

立教大学に進学して



橋本さくら

私は現在、立教大学観光学部観光学科に在籍しています。立教大学と聞くと赤レンガ造りの池袋キャンパスを思い浮かべるとは思いますが、観光学部を含め4つの学部は埼玉県の新座市にあります。正門からはチャペルが見え、自然も豊かで穏やかな雰囲気です。授業は自分で組むことができ、他学部の科目や、スポーツをとることもできます。また、様々な部活動やサークルがあり、私は学園祭のサークルに所属し、11月の学園祭に向けて活動しています。是非興味のある方は遊びに来てください！慣れないことも多々ある中で、新しい友達もでき、楽しい学校生活を送っていますが、高校時代の友達や、生活を思い出し恋しくなることもあります。限りある高校生活を存分に楽しんでください！

明治大学に進学して



諸橋望紗

私は現在、明治大学理工学部物理学科に在籍しています。大学生活にも一人暮らしにも少しずつ慣れてきました。大学では、高校までの物理とは比べものにならないほど専門的で深い学びができる環境が整っています。講義はとても興味深く、自分の視野が大きく広がっているのを感じます。また、研究活動も盛んで、早くから実験やゼミに参加することができ、学んだ理論を実際に応用する面白さを日々実感しています。授業だけでなくサークル、アルバイト、遊びなど毎日とても充実しています。今後も興味を大切に多くの知識や経験を積んで成長していきたいです。後輩の皆さんも、高校生活を大切にしながら、自分の夢に向かって頑張ってください！応援しています！

宮城大学に進学して



渡邊 絢音

私は現在、宮城大学看護学群に在籍しています。他の学群と比べて必修の授業が多く、忙しさを感じますが、少しずつ慣れてきて、一人暮らしも楽しんでいます。看護学生は勉強で忙しいイメージをもつ方が多いと思いますが、サークル活動やアルバイトも行っており、毎日充実しています。新しい環境に飛び込み、様々な人と関わり、学んでいくことに、とてもワクワクしながら大学生活を送っています。皆さんは今、勉強や受験などのプレッシャーを感じながら過ごしているかと思います。大学に合格した自分を想像し、周りの友達と高め合って、今から少しずつでも頑張りを重ねて行ってください！そして、あつという間の高校3年間を謳歌してください！

同窓会ホームページ
をご覧ください

昨年度より白河高等学校同窓会のホームページを公開しています。

同窓生の皆様のお役に立てるコンテンツの充実と情報発信に努めてまいります。

住所変更等がございましたら、ホームページからご連絡ください。

連絡可能な内容

- ・氏名の変更
- ・住所または電話番号の変更
- ・勤務先の変更
- ・逝去のご連絡 等

(逝去のご連絡をされる場合は、本人との間柄が明確にわかるように必ず連絡者を備考欄にご入力ください。)



白河高校同窓会
ホームページ

<https://dousoukai.site/toryuu/>

進路報告

現役国公立大学合格者

114名！

進路指導主事 小野寺洋子

令和6年度卒業生223名のうち、
四年制大学の進学者は204名。全
体の91・4%を占めます。内訳
は国公立大学が103名、私立大学
が101名と、国公立大学が私立大
学を上回る結果となりました。

国公立大学には難関大学の東
北大を含め、延べ114名が合格し
ました。3年生の4月の調査で
国公立大学志望者が学年の7割
超であった中、実際の合格者数
が卒業生数の5割を超えたのは
素晴らしい成果です。私立大学
は、早稲田大、明治大、立教大、
中央大、法政大、東京理科大等
に延べ364名が合格しました。地
道に辛抱強く努力する姿勢が見
事な結果につながりました。
卒業生を励まし、支えたご家
族や地域の皆様、同窓会の皆様
に改めて感謝申し上げます。

令和6年度卒業生 大学等合格状況一覧

《国公立大学・準大学》

学 校 名	男	女	計
室蘭工大	1		1
弘前大	1		1
岩手大	1		1
東北大	4	1	5
宮城教育大	1	1	2
秋田大	1		1
山形大	5	3	8
福島大	15	10	25
茨城大	5	2	7
筑波大		1	1
宇都宮大	4		4
群馬大	1		1
埼玉大	1	5	6
千葉大	1	2	3
東京海洋大	1		1
東京学芸大		2	2
新潟大	7	3	10
金沢大	1		1
静岡大	1		1
宮城大	1	1	2
秋田県立大	2		2
会津大	4		4
福島県立医大	2	8	10
前橋工科大		1	1
群馬健康科学大		1	1
高崎経大		1	1
千葉保健医療大		1	1
東京都立大	1		1
新潟県立大	3	1	4
山梨県立大		1	1
都留文科大	2	2	4
長野大		1	1
国公立大合計	66	48	114
準大学合計			
国公立大＋準大	66	48	114

《私立大学》

学 校 名	男	女	計
岩手医大		1	1
仙台大		1	1
東北学院大	11	6	17
東北工大	1		1
東北福祉大		6	6
宮城学院女子大		4	4
東北文化学園大		2	2
仙台青葉学院大		2	2
医療創生大	1		1
奥羽大	1		1
つくば国際大		2	2
流通経済大	1		1

学 校 名	男	女	計
足利大	3		3
国際医療福祉大	13	18	31
白鷗大	5	7	12
宇都宮共和大		1	1
高崎健康福祉大		2	2
群馬医療福祉大		2	2
埼玉工大	1		1
城西大	1		1
駿河台大	3	2	5
獨協大	4	9	13
文教大	3	3	6
目白大		1	1
日本医療科学大		3	3
神田外語大		2	2
国際武道大	1		1
淑徳大	1	1	2
聖徳大		1	1
千葉工大	5		5
中央学院大	1		1
帝京平成大	2	1	3
東京情報大	3		3
亜細亜大	2	1	3
桜美林大	1		1
大妻女子大		1	1
学習院大		1	1
北里大	2		2
国立音大		1	1
工学院大	5	1	6
国士舘大	5		5
駒澤大	6	1	7
駒沢女子大		1	1
芝浦工大	2		2
順天堂大	2	2	4
昭和女子大		1	1
女子栄養大		2	2
成蹊大	2	2	4
専修大	6	6	12
大正大	2	1	3
大東文化大	3	5	8
拓殖大		5	5
玉川大		2	2
中央大	3		3
帝京大	3		3
東海大	18	6	24
東京経大	2		2
東京工科大	2	2	4
東京女子大		1	1
東京電機大	2		2
東京農大	4	2	6
東京理科大	1		1

学 校 名	男	女	計
東邦大	1		1
東洋大	7	14	21
二松学舎大	1	1	2
日本大	15	3	18
日本女子大		2	2
法政大	2	3	5
武蔵大		1	1
東京都市大		1	1
武蔵野大	3	2	5
明治大	1	3	4
明治学院大	1	1	2
明星大	2		2
立教大	1	3	4
立正大	1	3	4
早稲田大		1	1
学習院女子大		1	1
東京医療保健大		2	2
神奈川大	4	1	5
神奈川工科大	3		3
鎌倉女子大		1	1
関東学院大	4	4	8
新潟医療福祉大	3	1	4
金沢工大	1		1
京都女子大		1	1
京都精華大	1		1
大谷大	2		2
京都産業大	1		1
龍谷大		3	3
追手門学院大		1	1
大阪大谷大		2	2
大阪総合保育大		2	2
奈良大		1	1
私立大学合計	186	178	364

《短期大学》

学 校 名	男	女	計
山形県米沢女短		1	1
桜の聖母短		1	1
東京歯大短		1	1
桐朋学園芸術短	1		1
目白大短大部		1	1
山野美容芸術短	1		1
神奈川歯大短大部	1		1
短期大学合計	1	6	7

《専門学校》

学 校 名	男	女	計
白河厚生病院附属高看	1		1
鶴岡市立荘内看護専門学校		1	1
原宿ベルエポック専門学校	1		1

《専門学校》

学 校 名	男	女	計
国際ビューティー&フード大学校		1	1
国際医療看護福祉大学校	1		1
福島県農業学校 センター	1		1
ケイセンビジネス公務員カレッジ		2	2
専門学校合計	4	4	8

《就職(含 公務員)》

企 業 名	男	女	計
福島県市町村立学校事務職員		1	1
信越半導体株式会社	1		1
就職合計	1	1	2

《予備校等》

学 校 名	男	女	計
駿台予備校	1		1
河合塾	1		1
他の予備校・塾	2	1	3
自宅浪人等	1		1
予備校等合計	5	1	6

令和6年度卒業生 合格先状況一覧

学 校 名	男	女	計
国公立大学	66	48	114
私立大学	186	178	364
四年制大学合計	252	226	478
短期大学	1	6	7
専門学校	4	4	8
留学			
就職(含 公務員)	1	1	2
その他			
小 計	6	11	17
合 計	258	237	495

令和6年度卒業生 進路先状況一覧

学 校 名	男	女	計
国立大学	47	28	75
公立大学	14	14	28
私立大学	44	57	101
四年制大学合計	105	99	204
短期大学	1	3	4
専門学校	2	4	6
就職(含む公務員)	1	1	2
留学			
その他		1	1
小 計	4	9	13
次年度進学予定者	5	1	6
合 計	114	109	223

※詳細は、学校ホームページをご覧ください。

部活動報告

全国大会報告

剣道部 3年 五十嵐 柚月

白河高校剣道部は、令和7年度全国総合体育大会剣道競技・第72回全国高等学校剣道大会（広島インターハイ）に、女子団体戦・女子個人戦で福島県代表として出場してきました。団体戦は、沖縄県の興南高校と対戦し3対0で勝利、宮崎県の高千穂高校と対戦し1対4で敗退、予選リーグ敗退という結果でした。また、個人戦は、福岡県の中村学園女子高校の選手と対戦

し、敗退しました。

私たちは、全国大会の切符を勝ち取るまでに多くの課題や困難に直面しましたが、たくさんの人に支えや励ましを受けながら、自分たちが目指す最終地点はどこなのかを何度も話し合い、目標を再確認してきました。その過程で、仲間と一緒に悩みながら練習に取り組み、助け合いながら乗り越えた日々はとても貴重な経験となりました。

全国大会の舞台では、これまでやってきたこと、仲間、そして自分自身を信じて、緊張や不安を感じながらも最後まで全力で挑みました。「殻にこもらないで成長し続けること」と

いう先生からの言葉は、剣道だけでなく、これからどんなことにも挑戦し、努力を続ける上で大切な軸となると思います。

最後に、ここまで共に頑張ってきた仲間たちや、いつも熱心にご指導くださった先生方、どんな時も味方でいてくれた保護

の皆様、そして支えてくださった全ての関係者の方に心より感謝しています。本当にありがとうございました。

かがわ総文祭に参加して

写真部 3年 坪 真尋

私は、7月29日から31日にかけて行われた、第49回全国高等学校総合文化祭の写真部門に参加してきました。

1日目の生徒交流会では、はじめに香川クイズをグループで対決しました。その後、各々の写真を交換し合い、1冊のフォトブックを作成しました。その写真をどのように撮影したのか

などを質問し合い、学ぶことの多い時間でした。また、会話を通して各都道府県の魅力を知ることができ、とても楽しかったです。

2日目の撮影会では、高松市内を巡り、栗林公園や屋島で、様々な写真を撮ることができました。

かがわ総文祭に参加して得たこれまでになかった感性や経験を、これからの生活に繋げていきたいと思っています。

かがわ総文祭を通して

書道部 3年 真船 姫名

私は7月26日から香川県で行われた第49回

全国高等学校総合文化祭・書道部門に出場しました。

目標だった大会に出場できたことは、私にとって大切な経験となりました。今回



出品したのは「本阿弥切」という仮名作品で、約1年半かけて錬成してきたものです。思うようにいかず悩んだ時期もありましたが、作品に向き合った時間はかけがえのない経験であり、心から夢中になることができました。

また交流会では「丸亀うちわづくり」を通して他県の生徒と交流し、励まし合いながら貴重な時間を過ごしました。この大会を通して、大切な仲間や先生たちとの出会いがあり、書道をもっと学びたいという気持ちが強まりました。支えてくれる方々への感謝の気持ちを忘れずこれからも挑戦を続けていきたいです！



後援会だより



後援会会長 生田 桂(高43)

第22回後援会総会は、令和7年4月26日に白河高校体育館で行われ、全議案が可決承認されました。令和2年度から開始されたすべての特別教室へのエアコン設置事業は、令和6年度までに完了し、今後は状況に応じて学習環境を整備し維持管理していくための活動をさせていた

また将来的な後援会会員の減少を考慮し、会費の段階的な負担増のお願いを議決させていただきましたが、今後も生徒の学習環境を充実した状態で維持していくための決断でありますので、何卒ご理解、ご協力のほど

この状況を開する様々な方策を検討するため、満山喜美副会長を委員長とする「事業見直し検討委員会」が設置されました。鈴木会長からの諮問を受け、7名の委員会メンバーと学校側の担当の先生方が何度も集まり、様々な課題に対する検討を重ねました。その結果、9月12日の三役会において、満山委員長から鈴木会長へ検討結果の答申を行いました。

上記にてご報告の通り事業見直し検討委員会が設置され、様々な事業の検討がなされましたが、その中でも最優先事項として、最も支出が大きい会報の発行方法の再検討がありました。現在、本同窓会報は、前年度賛助金にご協力下さいました皆様や、19才・25才・30才・35才となる卒回の皆様、並びに卒業後20年以上の卒回の皆様にお届けしておりますが、対象となる同窓生の増加や郵送料金の値上げをはじめとする諸物価の高騰のため、従来通りの配布は今後困難であり、対応策として左記の変更案が、事業見直し検討委員会から提言されました。この提言が三役会で承認され、来年度から実施されることとなりましたのでお知らせいたします。

何卒ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

（会報発行の変更点）
卒業後20年以上の卒回の皆様につきましましては、令和8年度より奇数・偶数の卒回に分け、交互に2年に1回のお届けに変更させていただきます。なお、この変更に伴って、賛助金にご協力下さいました皆様には、翌年度に加え翌々年度も同窓会報を郵送させていただきますことといたします。

「事業見直し検討委員会」の報告

会報発行 一部変更のお知らせ

賛助金納入のお願い

皆様よりお寄せいただきました賛助金は、3頁の予算・決算書にご覧いただけますように本会の活動と母校への援助のために使われております。令和6年度は、228万7,758円をご協力いただきました。感謝申し上げます。

利便性向上のため、郵便振込に加え、コンビニ振込・スマホ決済（専用紙が必要）にも対応しておりますので、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

賛助金は 1口 1,000円
できるだけ3口以上で協力ください。

郵便振込
郵便振替番号
02100412774
加入者名
福島県立白河高等学校同窓会
払込人負担はありません。

（郵便局の手数料改定により、令和6年1月22日より現金で振込む場合の払込人負担が廃止されました。）

コンビニ振込・スマホ決済
同封の専用紙
（一律3口3,000円）
払込人負担はありません。

社会全体に大きな災害をもたらしている暴風雨災害、熱中症アラートが日常になってしまつた今夏、健康に十分留意されてご活躍頂きたいと念じています。

今年の総会は役員改選があり副会長2名と数名の改選がありました。同窓会も母校発展と文武両道で頑張る後輩達の為、生徒数減少等先行き不透明な時代、同窓会を強く安定させるため、先輩、諸兄弟のご協力が必要です。よろしく願っています。

会報編集委員会
同窓会副会長 諸橋 和典(高34)
編集委員長 堀川 哲雄(高15)
編集委員 横村 勝己(高37)
金内 貴弘(高40)
末永明日香(高62)
大橋美夕紀(高65)
事務担当 鈴木 正弘(高39)

叙 勲 等

令和3年秋の叙勲
星 立志(高19) 瑞寶雙光章
令和6年秋の叙勲
円谷秀海(高24) 旭日双光章

計 報

大津留 章一(高39)
須藤 祐吉(高9) 令7・4・15

編 集 後 記

（叙勲、計報は学校内同窓会事務局にご連絡のあった方々をお載せしました。）